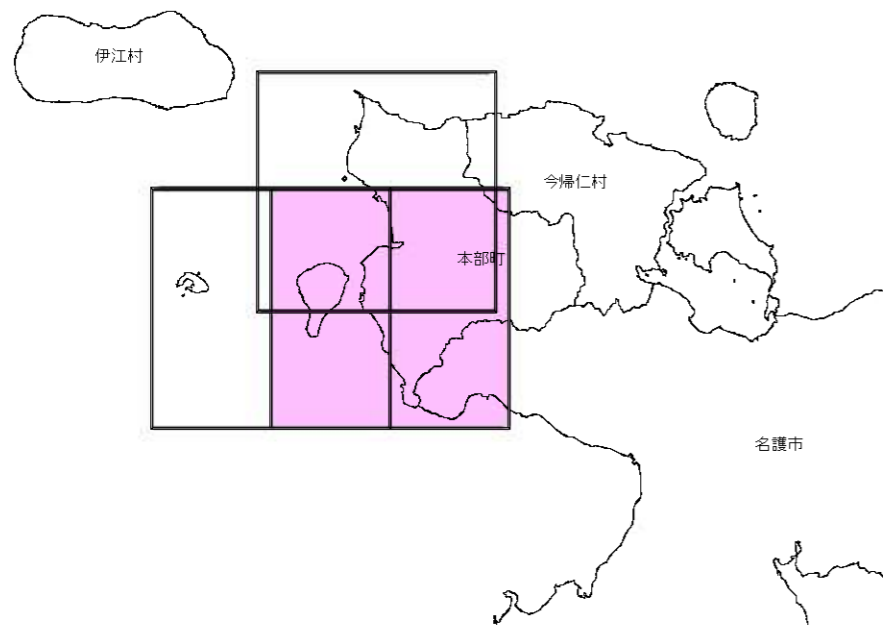


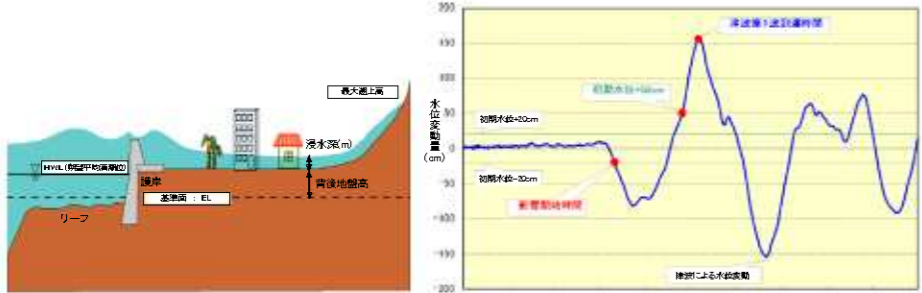
案内図



■下記の5つの津波を想定津波とし、各市町村毎に影響の大きい3つの津波を選定し、それぞれ構造物の「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行いました。(全6ケース)
 ■この図には、全6ケースのうち、最大の浸水範囲、最大浸水深(注1)を表示しています。
 ■また、代表地点周辺における最大遡上高(注1)および津波到達時間(±20cm、+50cm、第1波)を表示しています。(注2)
 ■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。
 [シミュレーション条件]

- (1) 想定津波
- ① 沖縄本島 北方沖 の想定地震津波
 - ② 沖縄本島 南東沖 の想定地震津波
 - ③ 沖縄本島 南西沖 の想定地震津波
 - ④ 久米島 北方沖 の想定地震津波
 - ⑤ 久米島 南東沖 の想定地震津波
- (2) 構造物
- 効果あり : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
 - 効果なし : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
- (3) 潮位 : 朔望平均満潮位 (各月の最高満潮面を平均した潮位)

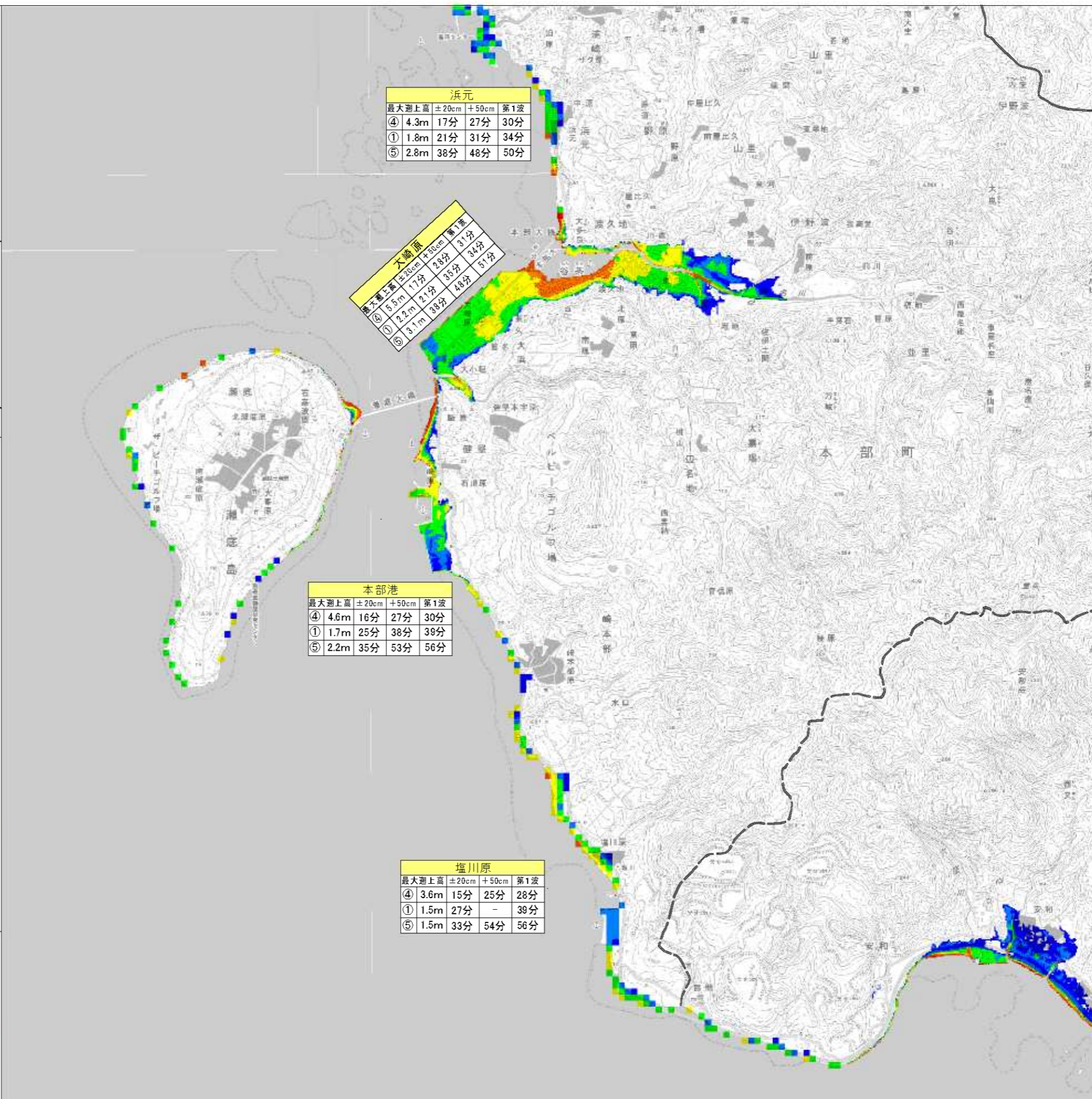
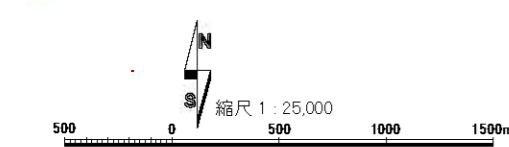
※注1 最大遡上高と浸水深 (図1参照)
 最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
 浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
 ※注2 影響開始時間 (±20cm、+50cm) と津波到達時間 (図2参照)
 影響開始時間は、地震発生から、海岸・海域の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。また、図中には、避難への影響がでる恐れのある初期水位からの水位上昇が+50cmに達する時間も表示しています。
 津波第1波到達時間は、地震発生から、津波第1波のピークが海岸に到達するまでの時間です。



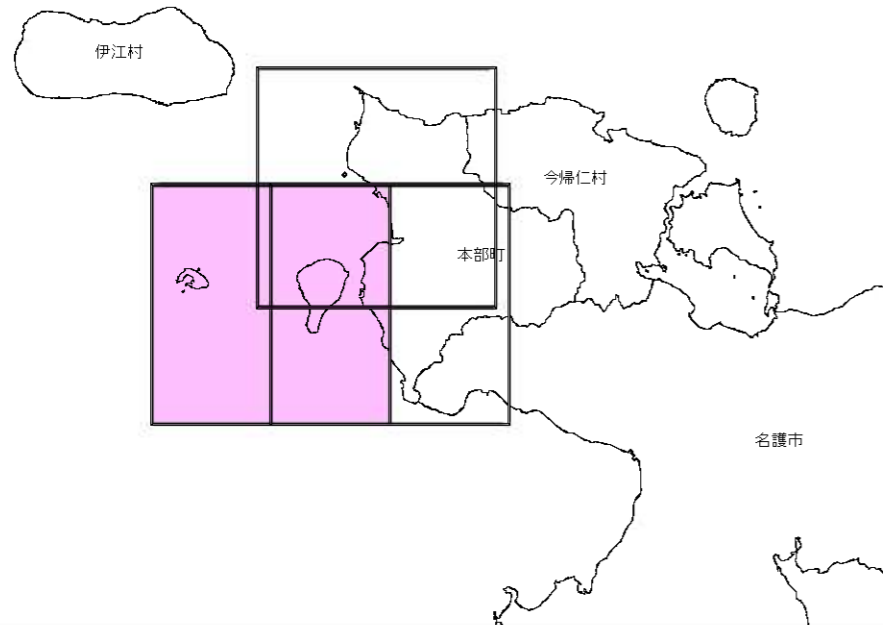
凡例

3つの想定津波の最大浸水深(m)

0.5m未満	3.0m以上 ~ 4.0m未満
0.5m以上 ~ 1.0m未満	4.0m以上 ~ 5.0m未満
1.0m以上 ~ 2.0m未満	5.0m以上
2.0m以上 ~ 3.0m未満	

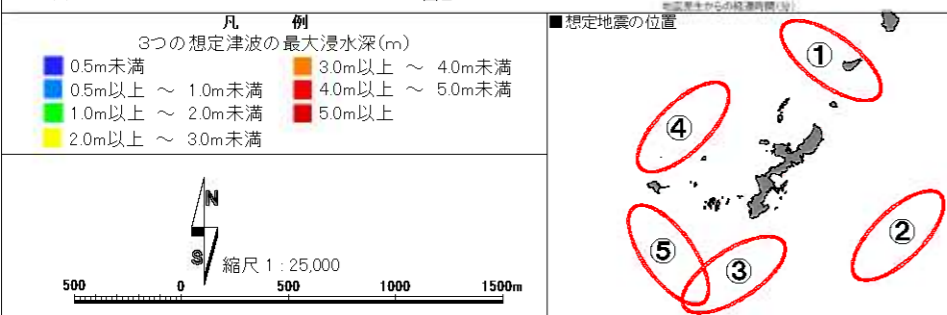
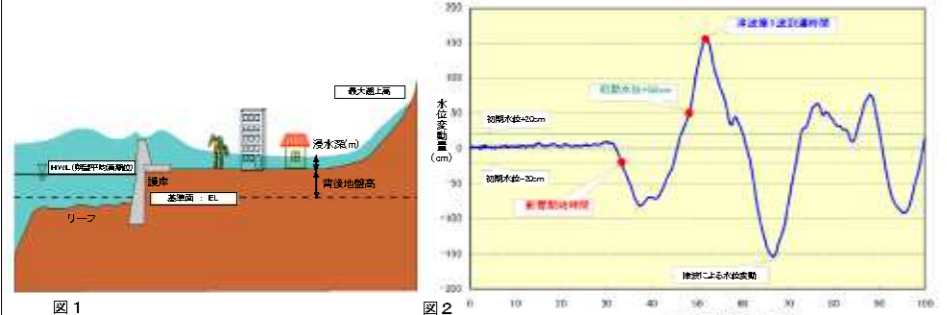


案内図



■下記の5つの津波を想定津波とし、各市町村毎に影響の大きい3つの津波を選定し、それぞれ構造物の「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行いました。(全6ケース)
 ■この図には、全6ケースのうち、最大の浸水範囲、最大浸水深(注1)を表示しています。
 ■また、代表地点周辺における最大遡上高(注1)および津波到達時間(±20cm、+50cm、第1波)を表示しています。(注2)
 ■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。
 [シミュレーション条件]
 (1) 想定津波
 ① 沖縄本島 北方沖 の想定地震津波
 ② 沖縄本島 南東沖 の想定地震津波
 ③ 沖縄本島 南西沖 の想定地震津波
 ④ 久米島 北方沖 の想定地震津波
 ⑤ 久米島 南東沖 の想定地震津波
 (2) 構造物
 効果あり : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
 効果なし : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
 (3) 潮位 : 朔望平均満潮位 (各月の最高満潮面を平均した潮位)

※注1 最大遡上高と浸水深 (図1参照)
 最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
 浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
 ※注2 影響開始時間 (±20cm、+50cm) と津波到達時間 (図2参照)
 影響開始時間は、地震発生から、海岸・海域の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。また、図中には、避難への影響がでる恐れのある初期水位からの水位上昇が+50cmに達する時間も表示しています。
 津波第1波到達時間は、地震発生から、津波第1波のピークが海岸に到達するまでの時間です。



水納島(北)

最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	2.6m	14分	24分
①	1.4m	22分	34分
⑤	1.4m	33分	-

水納島(南)

最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	2.6m	14分	28分
①	1.5m	24分	-
⑤	1.6m	33分	-

浜元

最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	4.3m	17分	27分
①	1.8m	21分	31分
⑤	2.8m	38分	48分

大崎原

最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	5.5m	17分	28分
①	2.2m	21分	35分
⑤	3.1m	36分	48分

本部港

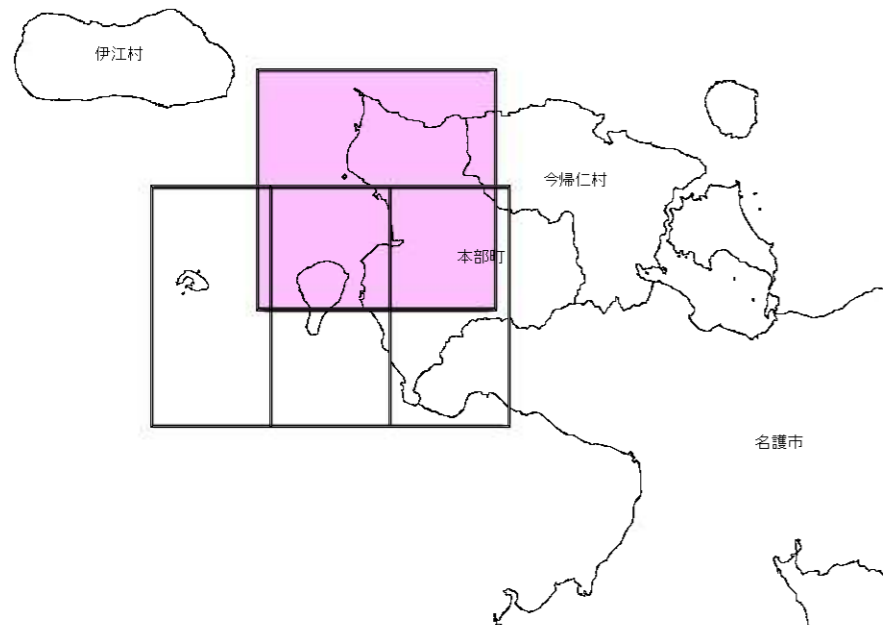
最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	4.6m	16分	27分
①	1.7m	25分	38分
⑤	2.2m	35分	53分

塩川原

最大遡上高	±20cm	+50cm	第1波
④	3.6m	15分	25分
①	1.5m	27分	-
⑤	1.5m	33分	54分

本部町

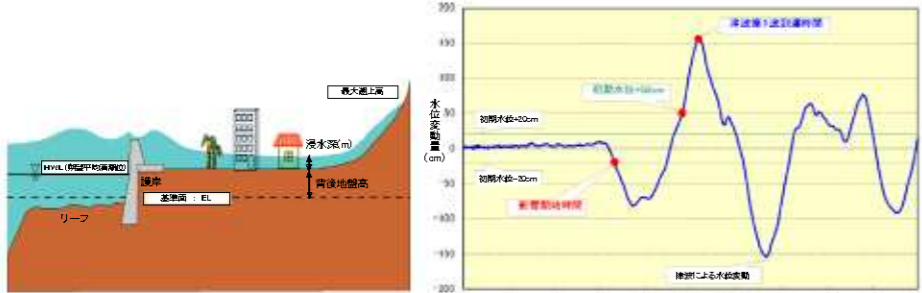
案内図



■下記の5つの津波を想定津波とし、各市町村毎に影響の大きい3つの津波を選定し、それぞれ構造物の「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行いました。(全6ケース)
 ■この図には、全6ケースのうち、最大の浸水範囲、最大浸水深(注1)を表示しています。
 ■また、代表地点周辺における最大遡上高(注1)および津波到達時間(±20cm、+50cm、第1波)を表示しています。(注2)
 ■地震の震源が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、遡上高が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。
 [シミュレーション条件]

- (1) 想定津波
- ① 沖縄本島 北方沖 の想定地震津波
 - ② 沖縄本島 南東沖 の想定地震津波
 - ③ 沖縄本島 南西沖 の想定地震津波
 - ④ 久米島 北方沖 の想定地震津波
 - ⑤ 久米島 南東沖 の想定地震津波
- (2) 構造物
- 効果あり : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
 - 効果なし : 防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
- (3) 潮位 : 朔望平均潮位 (各月の最高満潮面を平均した潮位)

※注1 最大遡上高と浸水深 (図1参照)
 最大遡上高は、各地区で津波が到達する最高の標高です。
 浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
 ※注2 影響開始時間 (±20cm、+50cm) と津波到達時間 (図2参照)
 影響開始時間は、地震発生から、海岸・海域の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。また、図中には、避難への影響がでる恐れのある初期水位からの水位上昇が+50cmに達する時間も表示しています。
 津波第1波到達時間は、地震発生から、津波第1波のピークが海岸に到達するまでの時間です。



凡例

3つの想定津波の最大浸水深(m)

0.5m未満	3.0m以上 ~ 4.0m未満
0.5m以上 ~ 1.0m未満	4.0m以上 ~ 5.0m未満
1.0m以上 ~ 2.0m未満	5.0m以上
2.0m以上 ~ 3.0m未満	

■ 想定地震の位置

縮尺 1:25,000

500 0 500 1000 1500m

